

シンポジウム 日本で暮らす外国ルーツの高齢者 ～ともに老後を支え合う多文化共生・共創社会を目指して

2024年
3月2日(土)
14:00～16:00

参加費無料 Zoom配信

在日外国人をはじめ外国ルーツの高齢者は年々増加し、老後の生活や介護において様々な課題に直面しています。本シンポジウムでは、外国ルーツの高齢者が存在する根幹となる出入国在留管理や高齢者支援に知悉する研究者かつ実践者である三名の専門家が登壇します。取り残されがちな外国ルーツの高齢者に焦点をあてて、「ともに老後を支え合う」多文化共生・共創社会の目指すべき姿を語り合います。

日本の出入国在留管理の
現状と課題
～外国ルーツの視点から



加藤 丈太郎 氏

武庫川女子大学文学部
英語グローバル学科

武庫川女子大学文学部英語グローバル学科専任講師。博士(学術)。2017年3月までNGOにおいて非正規移民に在留資格を求める活動に従事。2017年4月に研究の道に転じ、2022年4月より現職。専門は、移民研究、国際社会学、多文化共生論、移住と開発。編著に「入管の解体と移民庁の創設-出入国在留管理から多文化共生への転換(明石書店)」

マイノリティ高齢者
支援活動の展開と課題



金 宣吉 氏

特定非営利活動法人
神戸定住外国人支援センター
神戸定住外国人支援センター理事長。ソフトウェア開発企業勤務後、社会福祉法人勤務経験を経て阪神淡路大震災後、「兵庫県定住外国人生活復興センター」の発足に参画、「被ベトナム人救護連絡会」を統合し「神戸定住外国人支援センター」を結成。著書に「インターカルチュラル・シティ(共著)(明石書店)」など多数

在日外国人の高齢化と
介護の現状
～ともに老後を支え合う
多文化共生・共創社会とは



李 錦純 氏

関西医科大学看護学部
在宅看護学領域

関西医科大学看護学部・教授。博士(人間科学)。大学病院等での臨床経験を経て、2010年～看護系大学教員、2022年～多文化社会研究会副理事長。国際地域看護研究会会員。著書に「在日外国人の高齢者保健福祉に関する研究(風間書房)」など。看護師、保健師、介護支援専門員

ご参加をお待ちしております。

参加申し込み
2/27(火)12時まで



https://docs.google.com/forms/d/15AQRq92dAZsjvz2pbaylc3q0nn_qPQe3dPNLHjLVldw/edit

問い合わせ

関西医科大学看護学部 在宅看護学領域
E-mail: zaitaku@hirakata.kmu.ac.jp

共催: 国際地域看護研究会